

並木病院における新型コロナウイルス感染症の発生について(2022/11/23, 第2報)

令和4年11月23日、入院患者2名の新型コロナウイルス感染が判明し、治療と院内感染防止施策のさらなる徹底を行って参りましたが、11月29日夕方の時点での感染患者は全病棟に分布し、入院患者様53名、職員8名になりました。

罹患した患者様は可能な限り隔離し、抗ウイルス薬の投与を行いながら治療を継続しています。また、発症した患者様と同室の患者様については濃厚接触者として感染管理下での養生を継続して頂いています。

引き続き、院内感染制御チームと病院職員全員が一丸で感染拡大防止に全力で努めて参ります。患者様、御家族の皆様には、大変な御迷惑と御心配、御不便をおかけしておりますが、何卒御理解のほどお願い申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染は第8波を迎えており、市内の患者発生も多い状態が続いています。当院では以前から職員一同、厳重な感染管理下（マスク＋フェイスシールド又はゴーグル装着）で患者様の診療・看護・介護を続けておりますが、さらに気を引き締めて感染管理の徹底をして参ります。感染が収束するまでは病棟職員は原則感染防御用N95マスクと感染防護具を装着しての勤務を行います。

今後、院内での感染状況にさらに変化がある場合は、速やかに並木病院ホームページで御報告申し上げます。尚、感染収束の目処がつくまでは病院から要請がある面会を除いて、全ての病棟での面会を禁止していますのでご了承下さい。

令和4年11月29日

並木病院長 赤津拓彦